



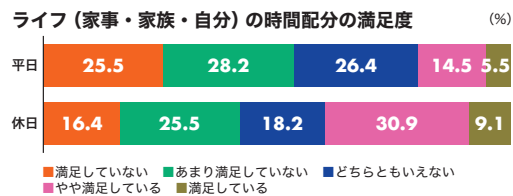
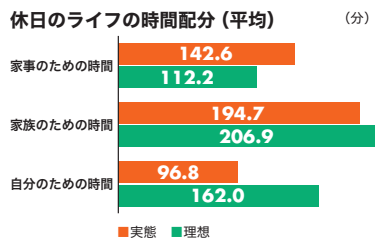
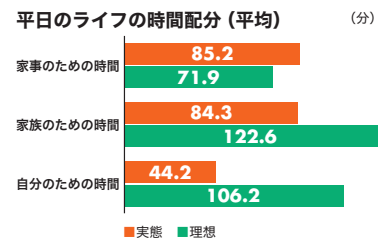
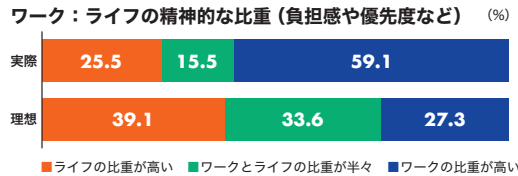
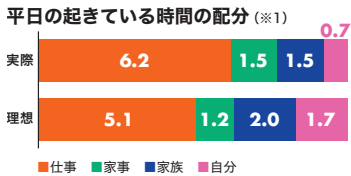
仕事も家庭も自分も。“私目線”でアグレッシブ！

セルフプロデュース型

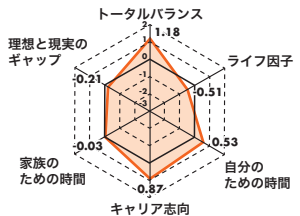
ワークライフバランス

理想はワーク：ライフ＝5：5
自分の時間があと1時間欲しい！

フルタイムワーク者が8割近くを占めるセルフプロデュース型。そのワークライフバランスは、時間的にも精神的にも仕事の比率が高いが、理想はワーク：ライフ＝5：5程度。理想との差が一番大きいのは“自分のための時間”で、平日・休日ともにあと1時間は欲しい。家族のための時間は平日はもう少し増やしたいが、休日は現状が理想に近い。平日の家事の時間は平均85.2分と短いが、休日は平均142.6分とそれなりに時間をかけている。



- (※1) 平均値から比率を算出
- (※2) 「特徴」内の順位は、7クラスター中の順位
- (※3) 「特徴」内のパーセンテージは「そう思う」「ややそう思う」と答えた率の合計

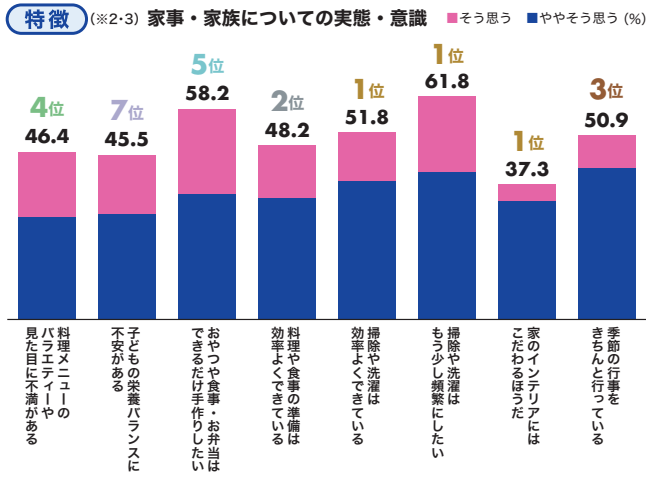


平均年齢 39.0歳
働き方 フルタイム 78.2%、パート・アルバイト 21.8%
同居する子ども 1人 53.6%、2人 38.2%、3人以上 8.2%
末子の学齢 未就学児 51.8%、小学生 28.2%、中学生以上の学生 20.0%

家事・家族

家事は効率重視だが、質にもこだわる
親子時間の中身を充実させたい

家事は効率よくできているという人が比較的多い一方、「掃除や洗濯はもう少し頻繁にしたい」という声もあり、効率とクオリティの両立へのニーズは強い。インテリアや季節の行事など“ステキな暮らし”への関心もある。末子が未就学児の人が51.8%で、ママである自分を楽しみ、親子コミュニケーションを重視しているものの、子どもとの時間の不足や、教育に十分に関わっていないことへの不安も見られる。教育につながる親子コミュニケーションの機会の提案などは有効だろう。

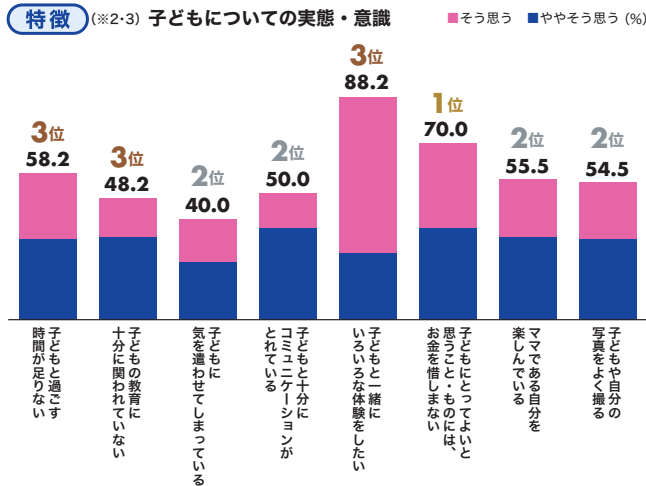
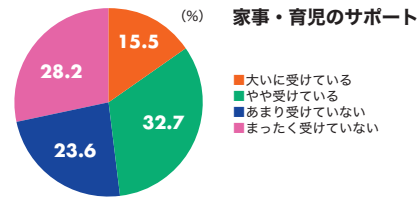
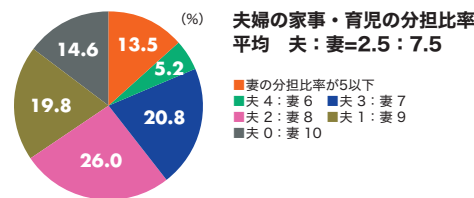
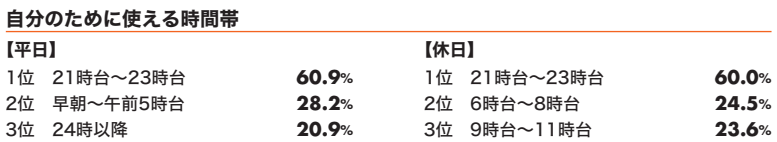


※自分自身や子ども、生活スタイルなどに関する全34項目を挙げ、自身に当てはまるかを聞いた。順位はクラスター中何位かを表記

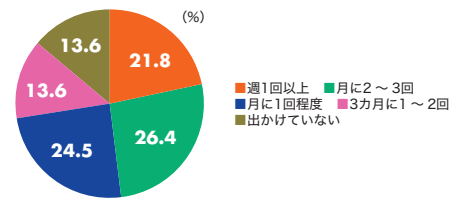
自分の時間

夜間・早朝に捻出するオフタイムを
快適にする商品・サービスに関心大

自分の時間は、主に子どもが寝ている早朝や夜間。平日は40分ほど、休日は1時間半ほど。ただし、必ずしもまとめて取れるわけではなく、細切れにテレビ・DVD、新聞・雑誌、インターネットやSNSなどを楽しんでいる。自分のための外出頻度は2週間に1回程度で、それほど多くない。早朝・夜間に捻出した家の中でのリラックスタイムをハッピーに過ごすための食べ物・飲み物やグッズなどへの関心は高い (※12・13ページ「自分時間」LINEトーク調査参照)。「今年、自分のために買った一番高額なもの」として、お気に入りのイスやポータブルテレビなどを挙げる人もいた。

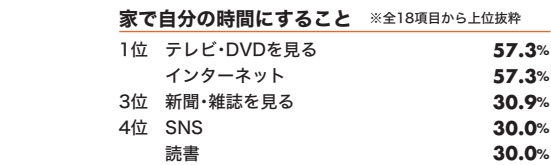


ここ3カ月でした、自分のための外出 平均回数 月2.4回



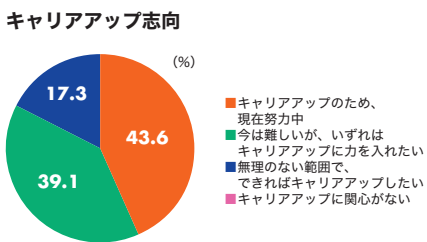
※全14項目から上位抜粋、n=43

1位	美容	58.9%
2位	外食・会食・飲み会	54.7%
3位	ショッピング	42.1%
4位	友達に会う	32.6%
5位	病院・検診	24.2%



高いキャリアアップ志向。成長ややりがいを求めて

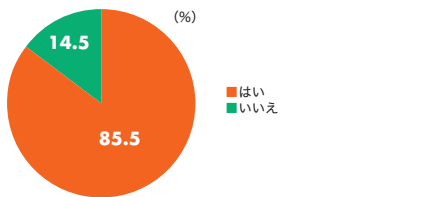
仕事の時間や精神的負担を少し減らしたいと思っている人が多いものの、キャリアアップのために「現在努力中」43.6%、「いずれは力を入れたい」39.1%と仕事に意欲的だ。また「もっと責任と権限のある仕事」を目指している人が3割近くいて、全クラスターで最も高い割合。



※全9項目から上位抜粋

1位	収入アップ	72.7%
2位	仕事の質アップ	37.3%
3位	特定スキルを上げてエキスパートに	37.3%
4位	上司や周囲からの評価	30.0%
5位	もっと責任と権限のある仕事	27.3%

経済的な不安がないとしても、働き続けたいか？



※全13項目から上位抜粋、n=43

1位	人との交流	77.7%
2位	自分の成長	73.4%
3位	やりがい	62.8%
4位	経済的自立	57.4%
5位	精神的自立	48.9%

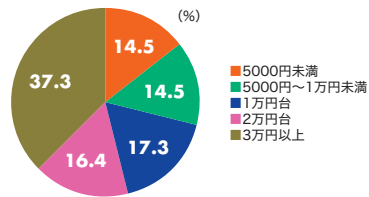
自分のための消費

使える額は最多、スキルアップや美容、旅行など多方面に積極的

自分のために、ひと月に使えるお金が3万円以上という人が約4割と最多。どの費目の平均金額も、全クラスターで1位だ。「今年、自分のために買った一番高額なもの」のフリーアンサーを見ても、スキルアップや、ファッション・美容・趣味・旅行など多方面で積極的に消費している。

下記データでも、情報感度や消費意欲の高さが見て取れる。彼女たちの心をつかむことが、ワーママ市場にアプローチする近道だ。

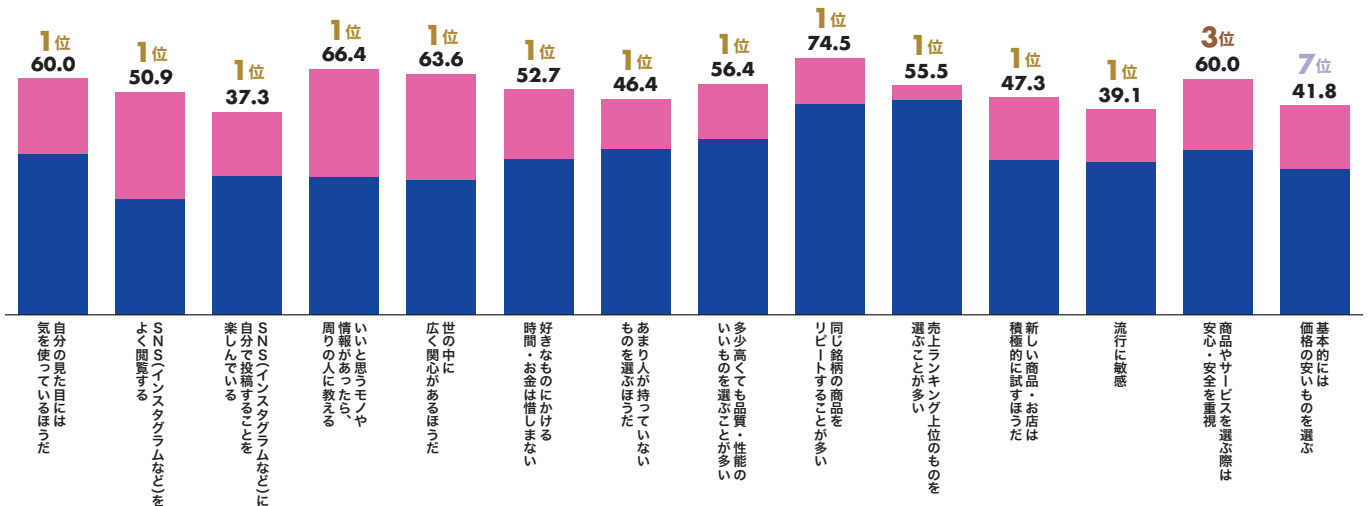
自分のために使えるお金(平均) 月2万7909円



費目別の平均月額

美容	7773円
ファッション	8636円
エンターテインメント	4091円
趣味・習い事・スポーツ	4773円
友達や同僚などとの交際	6545円

特徴 (※2・3) 消費・情報についての実態・意識



今年、自分のために買った一番高額なもの

- ・仕事復帰の際に、思い切って18万円のバッグを購入(39歳)
- ・ポータブルテレビを6万円くらいで購入。家事をしているときもテレビを見たいから(40歳)
- ・ネックレスを15万円で購入。子どもを産んでからアクセサリーをずっとつけていなかったのですが、仕事を始めて5年経ち、自分へのご褒美で買いました!(29歳)
- ・脱毛のチケットを6万円で購入。妊娠、出産、育休と、ずっと脱毛に通えなかったのが、仕事復帰でお給料が入るタイミングで再開したく買いました(35歳)
- ・フラワーアレンジメントのレッスン。10回で約5万円。一人で集中できる貴重な時間なので、これからも続けたいです(34歳)
- ・基礎化粧品とエステサロンで使用するバックセットを年間で計30万円以上購入。エステに定期的に通いながら、気分転換を図っている(33歳)
- ・ハワイ旅行(家族で45万円)。独身の時は年に2回海外旅行に出かけていて、結婚してからゼロだったので(41歳)
- ・会社で英語が必要になり、子どもの体調不良など時間が読めないで、予約制マンツーマンのスクールに通うことに。授業料54万円(32歳)
- ・Yチェア(約10万円)。夜しか一人の時間が取れないので、自宅でゆっくりできるお気に入りのものを購入しました(33歳)
- ・スーツ4万円。自分に合うように思い切ってオーダーしてみました。仕事のモチベーションにもなり、着こちもよく、自分だけの贅沢になりました(39歳)
- ・通信大学の費用50万円。3年生に編入した現役女子大生!(41歳)

ワーママ・サードウェーブで市場を牽引する「セルフプロデュース型」の攻略ポイント

仕事の関心ワード…「自己実現」

時間配分・精神的負担は今より抑えたいものの、キャリアアップに意欲的で、自己実現できる仕事を求める。

家事の関心ワード…「効率と質の両立」

家事の効率化に積極的だが、掃除や洗濯の頻度を増やしたいという気持ちも。良質な暮らしへの関心も高い。

子育ての関心ワード…「親子時間の中身の充実」

親子のコミュニケーションを重視するが、時間は不足気味。子どもにとってよい商品・サービスであれば、多少高価でも利用意向は高い。

自分時間の関心ワード…「早朝・夜間のプチ幸せ」

早朝・夜間に捻出したわずかな時間を、よりハッピーにする食品・飲料・グッズ、住空間を快適にする家具・家電などに興味あり。

自分消費の関心ワード…「自己演出」「高くても良質なモノ」「SNS」

自分の見た目に気を使い、好きなものや、品質・性能がいいものにお金をかける。SNSを活用している人が比較的多く、新しい商品・お店の利用にも積極的なオピニオン・リーダー的存在。